

STEP 0 (ゼロ) 大人の病院を受診するための準備



次の項目を“患者さん自身で”できるようになっているか、確認してみよう！

診察の時、医師と
話ができる

体調不良時の対応
ができる（症状・
連絡先・応急処置）

薬や体調の
管理ができる

他人に自分の
病気や注意点を
伝えられる

病院の予約を
取れる

病名、症状、
今までの治療を
理解している

今後、起こり得る
症状を知っている



障害や疾患によっては、その方に応じた準備が必要となることもあります。病院の看護師や相談員にご相談ください。

～大人になっていくあなたと 見守ってきた保護者の方へ～

『いつまで主治医の先生に診てもらえるのかな？』
『大人になったらどうやって病気と付き合っていくんだろう』
そんな疑問、不安を感じたことはありませんか。
『そろそろ大人の病院を考えようか』
『小児科だから大人になるまでずっとは診てあげられないんだ』
大人の病院への第一歩は主治医の先生からの、そんな言葉で始まるかもしれません。

一言で『大人の病院』といっても様々です。病院のシステム、先生や看護師さんや受付の方、検査方法、リハビリの器具、トイレの様子や待合室の広さなど様々なことに違いを感じるかもしれません。

戸惑うことは当たり前、不安になるのも当たり前です。そんな戸惑いや不安、何から始めたらいいのかわからない混乱する思いを私たち病院スタッフに教えていただき、一緒に考えさせてください。

病気を経験してきたお子さんと、ずっと見守ってきた保護者の方だからこそ持っている価値観、将来への思いを伺い、安心して素敵に大人になるための準備のお手伝いをさせていただきます。

お問い合わせ

埼玉県移行期医療支援センター

場所▶ 埼玉県立小児医療センター
2F 6番 相談窓口

時間▶ 8:45～17:00（平日）

電話▶ **048-601-1509**



モックー マラッカ ドラムーチョ ラッパッパ フェール シンバルン ピアノン チェロット

大人の病院への移行 ～病院探しを始めるときに～

埼玉県移行期医療支援センター

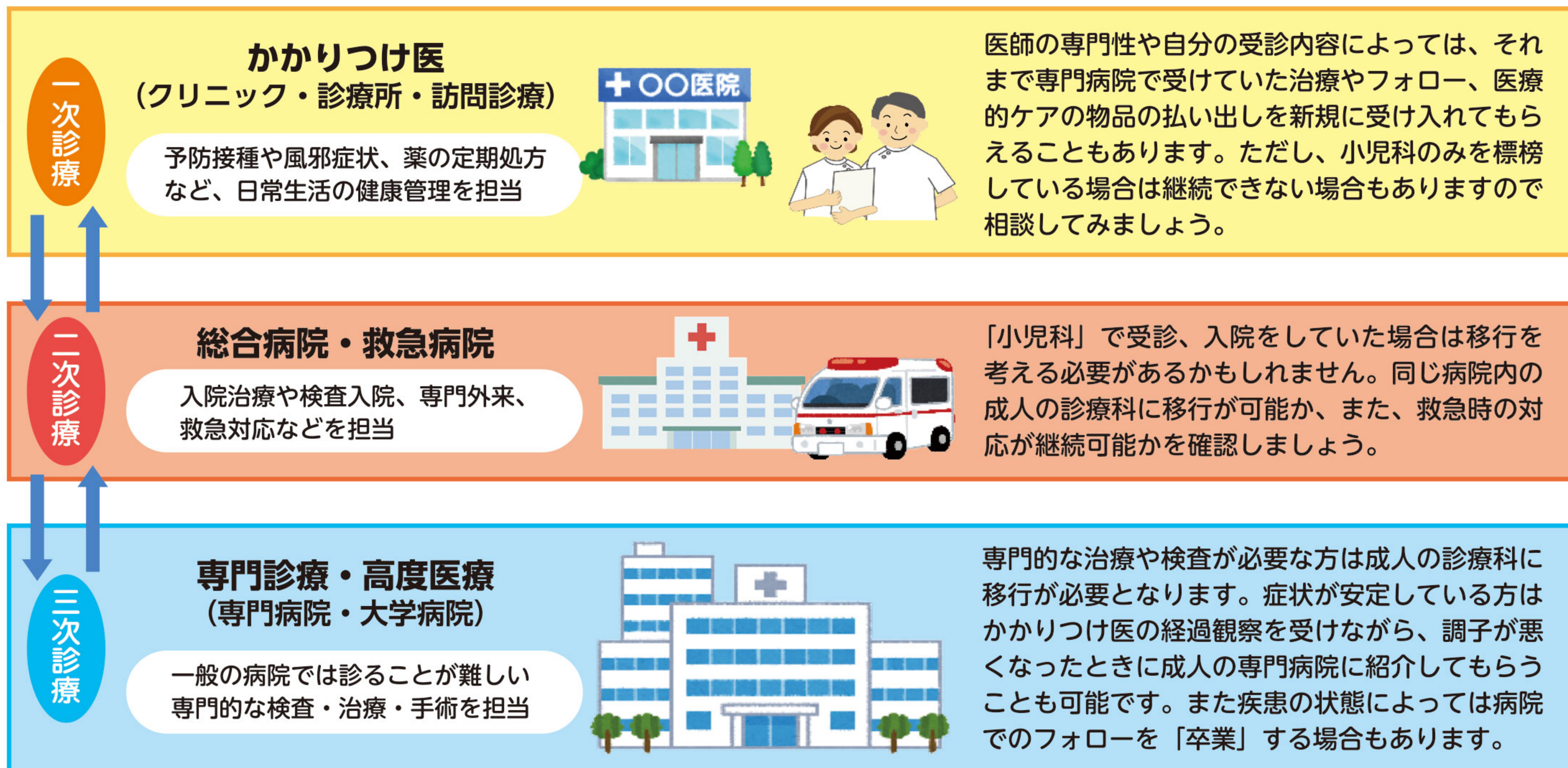
彩の国 埼玉県

STEP 1

病院の種類・役割を知る

目的に合わせて病院を使い分けることが大切です。
通院中の病院はどのような病院ですか？

それぞれの医療機関は常に連携をしています



STEP 2

自分に必要な病院を考える

自分が通っている病院の種類・役割に応じて移行先を考えてみましょう。

成人病院への移行の時、大切にしたいことは人それぞれ違います

- ・医師の専門性
- ・希望する治療を受けられるか
- ・病院の規模、設備
- ・複数の診療科を診ることができる
- ・通いやすさ
- ・救急時の受診のしやすさ
- ・医療ケアに必要な物品の種類、量

自分なりに優先順位を決めてみよう

子どもの病院は風邪の時やちょっとした検査・入院も診てくれることがあるけれど、大人の病院は役割分担がしっかり決まっているよ。
必要な時に適切な医療を受けられるように、自分に必要な医療の種類を理解して、それぞれの役割に応じた移行先の医療機関を確保しよう！

リハビリテーション、装具作製、歯科なども移行が必要になる場合があります。

STEP 3

自分に必要な書類（制度）を知る

18歳以前から必要な書類

- 身体障害者手帳 診断書・意見書
- 小児慢性特定疾病 医療意見書
- 指定難病 臨床調査個人票
- 育成医療 医師意見書（手術入院時）
- 自立支援医療（精神通院）医師意見書
- 障害児福祉手当 診断書
- 学校生活管理指導表
- 訪問看護（リハビリ）指示書

18歳になる時に必要な書類

- 障害認定区分 医師意見書（福祉サービス利用時）
- 更生医療 医師意見書（手術入院時）

20歳になる時に必要な書類

- 障害年金診断書（障害年金申請時）
- 受診状況等証明書（障害年金申請時）
- 特別障害者手当 診断書（障害児福祉手当からの切り替え）
- 指定難病 臨床調査個人票（小児慢性からの切り替え）

患者さんの状況によって必要な意見書・診断書の種類は異なります。自分が必要なものをチェック☑してみよう！

現在利用している制度で、移行後も必要になる書類は何か、移行した後、どの病院に手続きをお願いすることになるのか、考えてみよう。書類によっては書ける先生が決まっているよ。要注意だね！